



響き

No.129

2005.11.21

発行 莊原公民館

斐川町莊原町712-3

(電・FAX) 72-4600

秋、真っ盛り!! 文化祭開催



秋晴れの中 「色とりどりのフリマ」 オープン

今年文化祭は秋晴れにも恵まれ様々なフリーマーケットがオープン。子供たちを中心に賑わっていました。また、駐車場西側では町部消防団によるイベントも行われ、普段近くで見られない消防車に乗ったりして楽しい一時でした。



消防車に乗ってハイ、ポーズ!!

目 次

- 秋晴れの中文化祭を開催・・・(1)(2)
- 「やまものの会」だより他……(3)
- 莊原体協報告他 ……………(4)

ふれあいで築こう
郷土文化の創造

庄原地区

文化祭&健康まつり開催

10/

15(土)
16(日)



15日(土)午後からは「これからのまちづくりと地域活動」と題した講演会が行われました。講師は長門県立大教授の田嶋義介さんでした。

今年も恒例の「庄原地区文化祭&健康まつり」が十月十五日(土)と十六日(日)の両日、公民館と周辺の施設で開催されました。特に屋外でのバザーが多数出店する十六日(日)は晴天にも恵まれ、たくさんの方の出で賑わいました。また、今年も初参加や特別参加の団体もあり、盛りだくさんの内容でした。会場は公民館の他に、おいでませ館、庄原郵便局、シヨッピングセンターアイでも展示や抹茶サービスが行われました。



集会室で行われたステージ発表の様子



公民館の集会室では主に子供たちの書道絵画などの展示がありました。



お楽しみの抽選会の様子。当たった方おめでとうございます。



庄原郵便局では絵手紙、陶芸、俳句、川柳、おきり絵等の展示の他に抹茶サービスも行われました。

「悪質な訪問販売にはご注意を」

久木公民館の皆さんの寸劇でPR

今回、ステージ発表のコーナーに特別参加として、久木公民館の皆さんによる寸劇が披露されました。近年問題になっている、悪質な訪問販売をテーマに出雲弁でユーモラスに熟演。好評でした。



健康チェックの様子

健康チェックを実施

「健康まつり」では血圧測定や、体脂肪測定など様々な健康チェックが行われました。



麻油を使ったセッケン作り



また、親子を対象に出雲農政事務所指導による、「五平餅づくり&試食」も行われ、美味しい体験もできました。

力比較体験などが行われ、環境問題を身近に感じることが出来ました。

し作り、「自転車こぎでできる電力体験」、また家庭電気製品の消費電力比較体験などが行われ、環境問題を身近に感じることが出来ました。

五平餅づくりを体験する子供たち



庄原地区

環境フェア開催

講演会、廃油セッケン作り等行う

七月三十日(土)、庄原公民館にて「庄原地区環境フェア」が行われ、親子連れなど様々な世代の人たちで賑わいました。主催したのは、やまももの会。公民館、環境美化委員、地球温暖化防止活動推進員の共催で開催されました。

まず行われたのは講演会。「環境について」と題し錦織博子さん、「身近な温暖化防止活動」と題し竹田さんの講演が行われました。そして、町環境政策課による「ゴミの分別についての講習会。そして体験コーナーとして「廃油セッケン作り」、「ぼかし作り」、「自転車こぎでできる電力体験」、また家庭電気製品の消費電力比較体験などが行われ、環境問題を身近に感じることが出来ました。

〈やまももの会だより〉

手作りパン、バザー等で文化祭へ参加

8月 三瓶自然館などへ視察



文化祭で手作りパンの様子

やまももの会は、十月十五、十六日に行われた、庄原地区文化祭に様々な形で参加しました。

特に屋外での催物では、チャリティー用品バザー、手作りパンとケーキ、牛乳、焼きそばの販売。そして、今回初めて七月に行つた環境フェアで体験した、お米を使った五平餅にも挑戦。好評を得ました。

八月二十七日(土)文化館主催の視察が行われました。今回の視察先は、大田市にある三瓶自然館サヒメルと話題になった埋没林公園。今回はガイド役として神田自治会の富岡義雄さんにも同行願い、学習をしました。

なお、文化祭の収益の一部はフアミリーサポートホーム「金太郎の家」へ寄付しました。



視察先にて

《庄原地区民協報告》

総合優勝は大井上

(地区民体育大会)

九月十八日(日)、毎年恒例の庄原地区民体育大会が庄原小学校グラウンドで行われました。今年、総合優勝をしたのは大井上自治会でした。主な結果は次の通り。

《総合の部》

- 優勝……大井上自治会
- 2位……みはらし自治会
- 3位……新田上自治会
- 4位……北新町自治会
- 5位……前原自治会
- 6位……吉成自治会



地区民体育大会の様子

「子供の安全を守る会」に参加して

老人クラブ 佐藤 洋一

夫婦二人だけで帰省して早八年。やはり生まれた場所の空気や水は美味しく、心身共に癒されている毎日です。特に朝晩は愛犬と運動がてら散歩の日の課で、通学途中の児童に犬を通して会話をするようになっています。昨年から緑の帽子をかぶり意識して通学の時間にシフトし、より広い範囲の児童たちに声掛けをしています。「今日は人数が足りないけどどうしたの?」「賑やかなチームだね。何がそんなに楽しいかね。」とか。雪の吹きさぶ寒い朝や水が道に溢れそうな大雨の日は愛犬には気の毒だけど、交差点で立ち、見守ったりしています。時には車から降りて深々と挨拶されたり、車中から最敬礼してくださ

る先生らしき人や、バトカーからマイクで「ご苦労さまです。」と声を掛けられたりして、少しは安全通学の役に立っているんだと感じたりしています。二、三日児童に会わないと「一週間もどこへ行ってたんですか?」と逆に聞かれて胸キュンとなったり、中学生や高校生になり顔つきや身体つきが大人に近づいてきた男子生徒に太い声で挨拶されるとうれしくなります。ある人が「あなたには、たくさんのお孫さんがいるようなもんだね。」と云われました。自分はいつかはこの地に「落葉归根」「落地成根」となっても、何人かの成長した子供たちの心の中に生き続けることができるかと思っています。

インフォメーション

フラワーウォーキングのご案内

と き●11月27日(日)

集合場所●庄原公民館

集合時間●午前8時30分

行き先●出東地内

シクラメン見学

参加費●100円



主催：庄原地区健康づくりの会
庄原公民館

◇編集後記◇

この館報を「読者のために」である方にお届けできようが、今年度から年間の発行回数が二回減り三回になりました。しかしその分時間をかけ内容の濃いものにしていくと思っています。そういった意味でも皆様方からの様々な声、ご意見やご希望をどんどんお聞かせください。よろしくお願いします。



子供たちと共に(神庭地内の通学路にて)